

鳥取県中部地震

鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2016年10月31日

vol.⑩

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協
鳥取県中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

31日12時現在
被害・避難状況

◆人的被害 21人(重傷4、軽傷17) ◆住民避難 282人、
◆住宅被害 7,838棟(全壊2、半壊3、一部破損7,833) ◆公共土木施設被害 101カ所

全日本民医連・岸本事務局長が視察



↑現地視察する岸本事務局長

31日、全日本民医連・岸本事務局長が来鳥されました。現地視察では「日常生活ができていますので被害は一見小さそうに見えるが、住宅被害はやはり広がっている。今後も住宅再建や生活支援など、長期的な支援が必要」とコメントされました。

また鳥取医療生協役員室や事務長会議等を表敬訪問されました。また全日本民医連として、鳥取医療生協、鳥取民医連それぞれに鳥取県中部地震義援金が贈られました。



←岸本事務局長から義援金を受け取る鳥取医療生協池成副組合長と鳥取民医連渡邊事務局長

全日本民医連より鳥取県中部地震義援金が贈られました

改めて民医連と共同組織が そこにあることの強みを実感

29日、30日の訪問活動に参加された方の感想です。「以前診療所があり、3,000世帯以上の組織があったことにより、今回これだけの支援や地域訪問、地域の状況や対応すべきことなどの把握ができたのだと思う。改めて民医連と共同組織がそこにあることの強みを実感した」とのことでした。

現在も地域では、訪問時にも震度4の余震があるなど、日々、地震に対しての不安に怯えながらの生活を余儀なくされています。地域の要求を把握する行動に力を入れ、そうした方々の心理面でのフォローを継続的に行っていくことの必要性を、多くの支援者の皆さんが感じておられました。

また両日は他県連から多くの支援者の方々が応援に駆け付けて下さいました。感想文でも「民医連は一つ京都に帰っても京都から」「引き続き倉敷からの支援組織に力を入れます。隣県の被害、他人事ではありません」「島根からも応援隊組織します」など胸が熱くなる激励の言葉をいただきました。一方、鳥取の支援参加者からも「県外からの支援者が知らない土地を積極的に進まれる姿に感動した」「県外より多くの方が来て下さり民医連・医療生協の力を感じた」などの感想も聞かれました。

11月3日(木・祝)は40名以上の他県連の支援者が来鳥されます。引き続き支援、よろしくお願ひします。

他県連で支援に参加して下さったみなさん(両日参加含む) 本当にありがとう

10月29日(土)…16名(岡山1、京都5、島根6、兵庫4)

10月30日(日)…36名(岡山9、京都5、島根9、兵庫7、広島1、山口1、香川4)

